

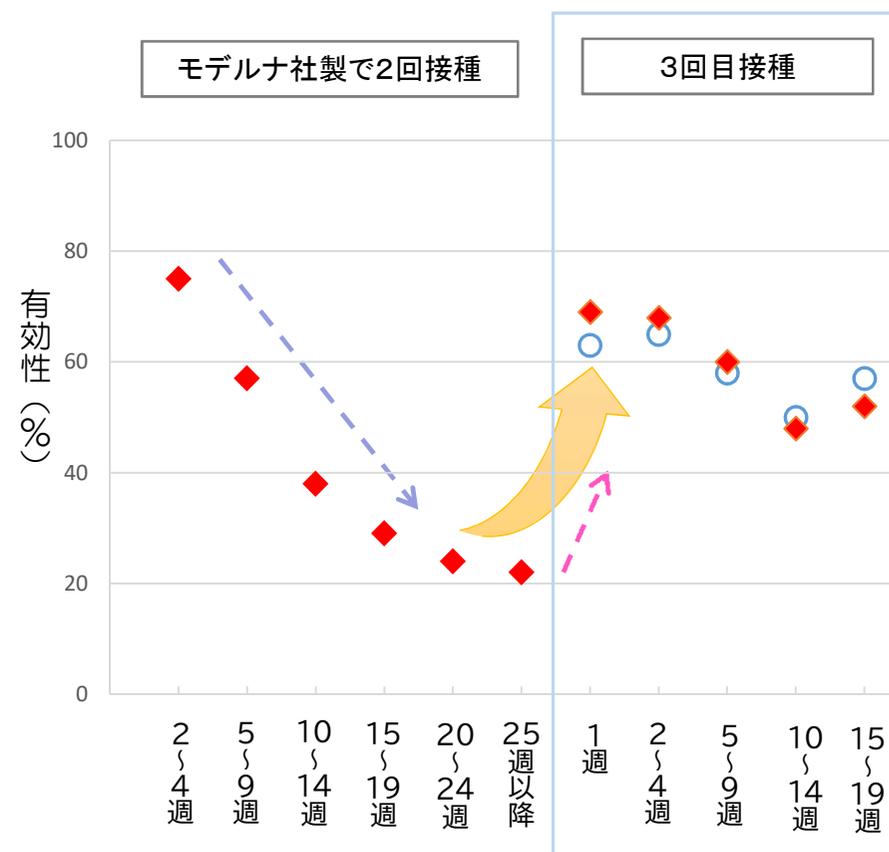
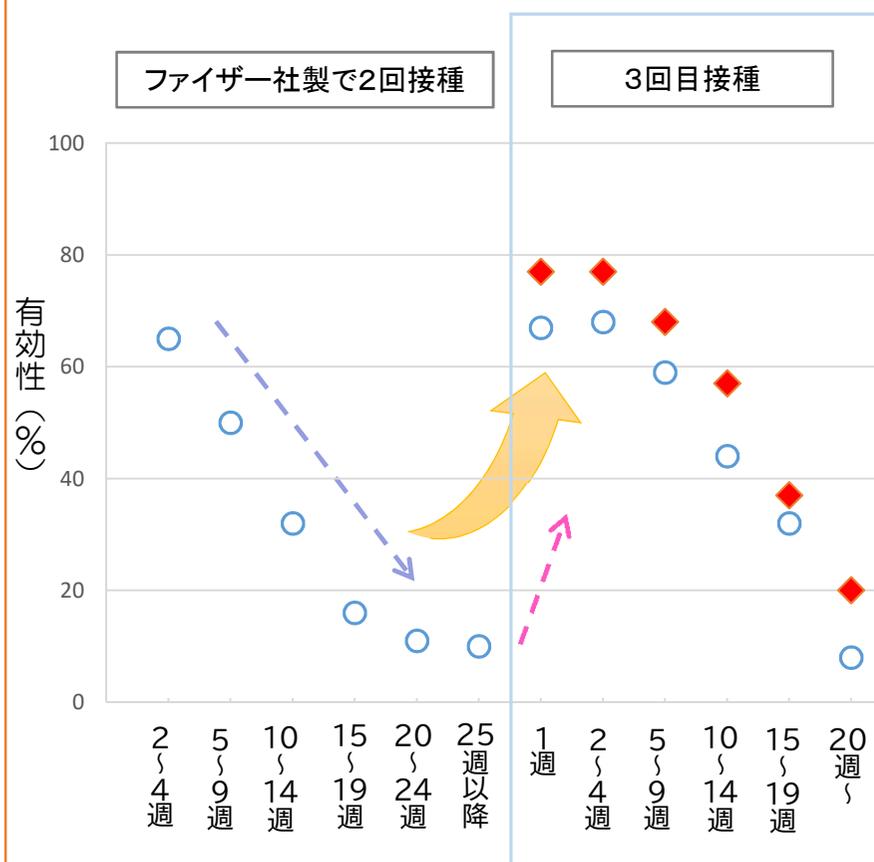
新型コロナウイルスワクチンの追加接種に関する効果

資料②

英国健康安全保障庁(UKHSA)の評価データによると、オミクロン株に対する発症予防効果について、ファイザー社製およびモデルナ製ワクチンとも2回目接種から20週間たった時点で20%程度に減少するが、追加接種をおこない、2~4週間たった時点では、70%程度まで上昇することが報告されている。
 なお、「BA.2」に対するワクチンの効果は「BA.1」と大きく変わらないとされている。

ワクチン接種による発症予防効果(オミクロン株)

◆: 武田/モデルナ社製 ○: ファイザー社製



接種してからの期間

接種してからの期間